

## ◆ 編集後記 ◆

新しく元号が令和に改まってから初めて発刊された「行政いばらき24号」。改元してから、会員の皆様におかれましては日常生活や業務の上で、いろいろな対応に迫られたことでしょう。大変な思いをされた方がおられたかもしれません、人生において改元の機会に立ち会えることなどそうそうあるものではありません。令和も平成同様、日本が戦争の惨禍に見舞われることのないよう、皆様とともに祈念したいと存じます。

世の中は新しく移り変わっていきますが、今回は本会も役員の改選時期。私は3期6年間にわたって広報・監察部長を務めてまいりましたが、今号でその任を終えることとなりました。

今までご指導やご協力を賜りました数多くの皆様に改めて心より御礼と感謝を申し上げます。ここでいただいた貴重な経験を今後の人生に活かしていきたいと思います。

本当にどうもありがとうございました。

(広報・監察部長 遠藤 実)

新元号「令和」になり、はじめての「行政いばらき」の発行となります。新元号の発表を皆さんはどうでどのように知りましたか。思い起こせば、昭和から平成へ移行したときはまだ学生でしたので、様々な手続きなど具体的にイメージできませんでしたが、行政書士の仕事に就いてからの新元号への移行は、とても貴重な経験になりそうです。早くも「令和」と付く会社の設立や社名の変更などがあるとのことですので、今後は皆さんの事務所にも相談があるかもしれません。

最後に、現体制での「行政いばらき」の発行は今回が最終号となりますが、いかがでしたでしょうか。

ご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後の「行政いばらき」の更なる発展をお祈り申し上げます。

(広報・監察部 坂本淳子)

初夏も近づき、そろそろ皆様は新元号に馴染んでこられた頃でしょうか？編集をしている改元直後のこの時期は、役所で許認可申請をしましても、まだ役所に新元号のゴム印が間に合わず、担当の方が役所受付印に一つ一つ手書きの令和の元号を書き加えて下さっていました。これも後から振り返れば、改元の思い出話の一つですね。

早いもので、今月号で現在の広報監察部は任期満了となります。この2年間、より良い広報及び会報発行のため、皆で内容の推敲はもとより、会報の名称や発行月の変更をしたりと、改良を重ねてまいりました。ご指導ご鞭撻に厚く御礼申し上げます。来月号から編集のメンバーは新しくなりますが、今後も行政いばらきをどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

(広報・監察部員 石神敦子)

私が広報監察部に専門委員として参加させていただき早10カ月。これまで漫然と読んでいた「行政いばらき」でしたが、いざ自分が作り手の立場になると内容や配置、1つ1つの細かな表現にも注意しながら作成しなければならず、自分が思ったより細かい作業でいろいろな方の努力があって発行されていることに気づき感銘を受けました。

広報・監察部としての活動は終了しますが、ここで学んだこと、経験させていただいたことはこれから自分の糧とさせていただきます。

また、広報監察部のメンバーをはじめ広報活動を通じて知り合い、支えてくださった皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

(広報・監察部 専門委員 冷岡和広)



このメンバーで2年間お届けしました。有難うございました！